

10月の庭仕事

主な作業

・草花

秋植え球根の植え付け

チューリップ、ヒアシンス、スイセン、アイリス、アリウム、ランキュラスなど。

ヒアシンスの水栽培

10月中旬すぎから開始、大球を使用。

種まき

スイートピー、ヒナゲシ、ラクスパーなど。スイートピーは、一昼夜水につけ、吸水させてからまく。

芝生の刈込み

中旬ごろ最後の刈込み。

熱帯性草花の取り込み

耐寒性のない熱帯性草花を鉢に取り、室内で管理。

・庭木

ボタンの植え付け

適期は9月下旬から10月中旬まで。よく日が当り、肥よくて排水のよい所を選ぶ。深さ60～70cm掘り、熔成リン肥、骨粉、油カス、ケイフンなど混入。ボタンは台木につぎ木してある苗がほとんどなので、そのつぎ目が2～3cmかくれる程度に植え込む。

移植

暖地性の常緑樹以外の庭木で、11月上旬までが適期。

常緑樹—サツキ類、キンモクセイ
サザンカ、マキなど。

落葉樹—カイドウ、レンギョウ、
オウバイ、サクラなど。

やってみましょう

ランキュラスの栽培

球根を花壇や鉢に直接植えると、急激に水を吸って腐ることがあります。そこで、まず湿ったバーミキュライト、砂、オガクズなどに球根を埋め込み、冷蔵庫の野菜室に5～10日くらい入れてゆっくりと吸水させ、中心の芽がふくらんだころに植え付けます（催芽、図参照）。

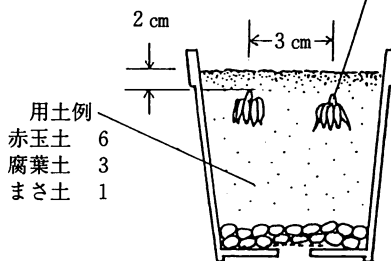
球根の上下を間違えず、
中心の芽を出して植える



湿らせたバーミキュライトなどに埋め込んで、冷蔵庫に5～10日間入れ、ゆっくり吸水させる。

ランキュラスの催芽の方法

吸水させ、中心の芽が
ふくらんだ球根



4号鉢で1球、
5号鉢で2球、
6号鉢で3球
程度とする。

ランキュラスの鉢植えの方法